

し ぜ ん い 自然とともに生きる

お す と ら り あ せんじゅうみん ぶん か オーストラリア先住民の文化とくらし

お す と ら り あ せんじゅうみん ど り む た い む し だ い
オーストラリアの先住民の「ドリームタイム」という時代
には、たくさんの物語があります。その中でも有名なの
が、「虹色の蛇(レインボーサーペント)」の話です。
に じ り ろ へ び れ い ん ぼ さ べ ん と は な し
虹色の蛇は、大地を旅しました。虹色の蛇が通ったあと
には、川や谷、山ができました。そして、今の世界ができ
たといわれています。虹色の蛇は、水や命を守る大切な
存在でもあります。雨や自然とも深く関係しています。し
かし、ルールを守らない人には、罰を与える力もあると
考えられていました。この物語には、「自然を大切にしま
しょう」「ルールを守りましょう」という大切な教えがあ
ります。そのため、今でも多くの人に伝えられています。

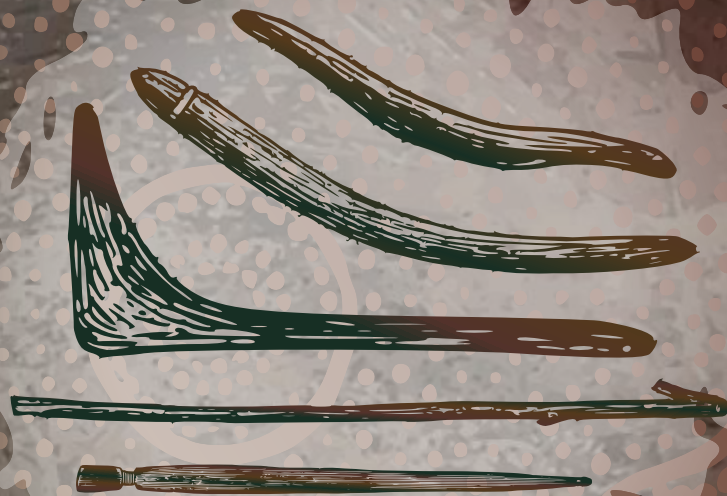


お す と ら り あ せんじゅうみん あ ぼ り じ に
オーストラリアの先住民(アボリジニの
ひとびと)は、少なくとも約6万年以上前から、
オーストラリアで暮らしてきたといわ
れています。オーストラリアは、長い間、
ほかの大陸から離れていました。そのた
め、先住民は、独自の文化や言葉、生活
の方法を作ってきました。

お す と ら り あ ぶ ぞ く
オーストラリアには、たくさんの部族がいました。そ
れぞれの部族には、違う言葉、伝統、信じていること
がありました。オーストラリアは、場所によって自然
や天気が大きく違います。そのため、砂漠、熱帯、海
の近くなど、それぞれの場所に合った生活をしてい
ました。また、「ドリームタイム」という物語や考え
方を大切にしていました。自然や動物と深くつなが
った生活をしていたことも、大きな特徴です。



先住民は、動物を捕まえるために、いろいろな道具を使っていました。特に有名なのが「ブーメラン」です。ブーメランには、投げると自分のところに戻ってくるものもあり、また動物を捕まえるために使う、戻ってこないブーメランもありました。目的によって、違うブーメランを使っていました。また、「槍（スピア）」や「槍投げ器（ウーメラ）」も使っていました。ウーメラを使うと、槍を遠くまで投げることができます。小さな動物や魚を捕まえるために、罟や網も使っていました。



食べ物も、住んでいる場所によって違いました。カンガルーやエミューなどの動物の肉だけではなく、魚、貝、虫、果物、ナッツ、植物の根など、自然の中にあるいろいろな食べ物を利用していました。特に「ブッシュフード」と呼ばれる、自然の中でとれる食べ物は、とても大切でした。例えば、「ウィッチェッティグラブ」という幼虫も食べていました。ウィッチェッティグラブは、必要なたんぱく質をとることができる大切な食べ物でした。食べ物を火で焼くことも多く、地面に穴を掘って、その中で食べ物を蒸し焼きにする方法もありました。このように、オーストラリアの先住民は、自然についてよく知り、自然を大切にしながら生活していました。



三重県の国際交流員が、毎月ちがうテーマで、自分の国の文化を紹介しています。ぜひ読んでください。

マルチ三重 Multicultural Mie